

令和元年 9 月 10 日
海事局海洋・環境政策課

S0x 規制適合油での正常な運航を内航船 12 隻で実証

～得られた知見は「手引書」にとりまとめ、業界へ共有～

2020 年 1 月からの船用燃料油の硫黄分濃度規制（S0x 規制）強化に先立ち、本年 6 月末から 9 月にかけて規制適合油を用いた実船のトライアル運航を実施しました。その結果、運航を実施した全 12 隻の内航船で問題なく燃料切替・運航を行うことができたほか、規制適合油への切替えに当たっての有益な知見を得ることができました。

今回得られた知見を海運業界へ周知するため、3 月に作成した規制適合油の使用に関する手引書を改訂しました。

1. 背景

船舶の排出ガス中に含まれる硫黄酸化物（S0x）等による人や環境への悪影響低減のため、船用燃料油の硫黄分濃度の規制（S0x 規制）強化が 2020 年 1 月 1 日より実施されます。これに伴い世界の船舶は、本年末までに現状の高硫黄（硫黄分 3.5%以下）燃料油から低硫黄（硫黄分 0.5%以下）の規制適合油へ燃料を切替える必要があります。一方、規制適合油は硫黄分その他、粘り気（動粘度）等の性状が従来のもものと異なることが想定されるため、運航に支障をきたすことなく安全に対応できるよう、国土交通省ではこれまで、燃料油に係る船舶の設備の調査、燃料油の混合安定性[※]等の確認試験、これらの結果をまとめた「2020 年 S0x 規制適合船用燃料油使用手引書」の作成等を行ってきました。

※複数の燃料油を混ぜたときに固形物が発生しないこと

2. 実船トライアルの実施内容（詳細は別紙1参照）

こうした中、関係業界が規制強化の準備に万全を期すことができるよう、今年秋頃からの本格的な供給開始に先立ち、総トン数 499～10,000Gt 超の計 12 隻の内航船で、実際に燃料を規制適合油へ切替えて運航するトライアルを実施しました。

3. 実船トライアルの結果（詳細は別紙2参照）

トライアルの結果、いずれの船舶においても、問題が生じることなく燃料切替・運航を行うことができました。また、燃料油の温度・動粘度の調整や清浄器の調整の方法等、規制適合油への切替えに当たっての有益な知見を得ることができました。

4. 「2020年S0x規制適合船用燃料油使用手引書」の改訂

国土交通省では、本トライアルで得られた知見を踏まえ、今年 3 月に作成した「2020 年 S0x 規制適合船用燃料油使用手引書」を改訂しました。（手引書の改訂版は国土交通省 HP（URL：http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_fr7_000026.html）にも掲載しています。）

【添付資料】

- ・別紙 1・2
- ・2020 年 S0x 規制適合船用燃料油使用手引書（第 2 版）

<お問合せ先> 海事局海洋・環境政策課 今井、十倉、下窪



代表：03-5253-8111（内線：43-926）

直通：03-5253-8118、FAX：03-5253-1644